

# 高校生と考える交通安全

昨年、高校生と市長が語る「ふれあいミーティング」に参加した豊科高校生徒会の皆さんが出演。一緒に交通安全を考えます。  
 岡地域づくり課生活安全係 071-2495



## 自転車に乗る皆さんへ

自転車は「軽車両」に位置付けられます。一時停止などの標識を無視していませんか。また、傘を差しながら、スマホを利用しながらの運転は、道路交通法で禁止されています。  
 交通ルール違反や危険な運転をしていないか、もう一回考えてみましょう。

### 守ろう！自転車安全利用5則

1. 自転車は、車道が原則、歩道は例外
2. 車道は左側を通行
3. 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
4. 安全ルールを守る
5. 子どもはヘルメットを着用



### 万が一のために保険加入を

自転車による交通事故は、重度の障害が残ったり、相手の命を奪ってしまうことがあります。また、事故の責任を問われたり、高額な損害賠償を請求されたりする可能性があります。

長野県では条例により、令和元年10月1日から自転車保険への加入が義務化されました。保険に加入しているかどうか、改めて確認してみましょう。

### 命を守るヘルメット

自転車乗用中の事故で亡くなられた人の多くが、頭部に致命傷を負っています。事故の被害を軽減するためには、ヘルメットで頭部を保護することが重要です。

自転車用ヘルメットには、さまざまな種類があり、帽子のように見えるおしゃれなヘルメットなどもあります。自分のスタイルに合わせて、お気に入りのヘルメットを選んでみてはいかがでしょうか。



# 防ごう、交通事故

春を迎え、通学・通勤のために、通り道や交通手段が変わった人も多いのではないのでしょうか。  
 交通事故は、誰にでも起こり得ること。一瞬の気の緩みで、あなたも事故の加害者・被害者になってしまうかもしれません。悲惨な事故を起こさないためにも、今一度自分の交通マナーを見直しましょう。今回は、自転車のルールを取り上げます。

### 「慣れ」に潜む危険

令和2年の市内の交通事故発生件数は279件（昨年比▲78件）、死者は2人（▲2人）、負傷者は335人（▲80人）となっており、市発足以来最も少ない数字となりました。減少の理由は、暖冬でスリップ事故が少なかったことと、コロナ禍で人や車の交通量が減ったことが考えられます。

事故の発生件数を1件でも減らし続けるためには、私たち一人ひとりが交通安全の意識を持つことが欠かせません。日頃から通り慣れた道でも、交通ルールを守り、安全確認を怠らないようにしましょう。急いでも、信号や一時停止など、基本的なルールを守ることが事故を防ぐことにつながります。

### ■自転車での事故

昨年発生した交通事故のうち、自転車の交通事故は20件、死者は1人、

負傷者は19人となっており、中高生や高齢者が関係する事故が多くを占めています。

自転車乗用中の事故で亡くなった人、けがをしたりした人の約7割が、何らかの法令違反をしているという統計があります。（出典：警察庁交通局「令和元年における交通死亡事故の発生状況等について」）  
 具体的には、安全不確認、操作不適、信号無視、一時不停止など、一般的な自転車の通行ルールを守っていないことが分かります。

自転車は通学や通勤、スポーツなど、さまざまな場面で利用され、誰でも乗ることができる便利な交通手段です。しかし、誤った乗り方をすると、自分がけがをしたり、相手にけがを負わせてしまったりと、重大な事故につながりかねません。今一度自転車の乗り方を見直し、交通ルールを守って安全に楽しく利用しましょう。

## 車も歩行者も「守ろう、交通ルール」

### 車に乗る皆さんへ

自分の運転、過信していませんか。車は時に凶器にもなり得ます。運転するときは、常に心に余裕をもって、正面の信号を確認し、周りの歩行者や車の動きに注意し、「～かもしれない」運転に努めましょう。

### 安全運転5則

1. 安全速度を必ず守る
2. カーブの手前でスピードを落とす
3. 交差点では必ず安全を確認する
4. 一時停止で横断歩行者の安全を守る
5. 飲酒運転は絶対にしない

### 歩行者の皆さんへ

歩行者にも守るべき心得があります。あなたは、「歩きスマホ」していませんか？下を向いてしまうと周囲の危険に気づくのが遅れます。また、子どもの事故のほとんどは、道路に飛び出した時に起こっています。

### 新入学児童向け「交通安全ルール4つの約束」

1. 止まる 道路をわたる前に、必ず止まる
2. 見る 飛び出しは危険！右・左の安全をよく見る
3. 待つ 車両用の信号が赤に変わっても、歩行者用の信号が青になるまで待つ
4. 確かめる わたる時は、もう一度、車やバイクが来ないか確かめる

安曇野市の子どもの命を守る  
**交通事故0プロジェクト**

安曇野市は、児童生徒の「自力登下校」と「交通事故0」を目指しています。